

12回目も二部構成で進行、大盛況

YKS2016全国合同勉強会のご報告



在日同胞若手研究者の会（Young Korean Scientists; YKS）が主催する全国合同勉強会が2016年10月1日（土）から10月2日（日）にかけて、東京都内にて開催されました。この勉強会は、在日同胞若手研究者たちの知識交流の場としての役割を担うべく、関西・関東定例勉強会（年4回）に並ぶ年に一度の行事として催されており、今年で12回目の開催となりました。今年の勉強会には、全国各地から大学生、大学院生、研究者、エンジニアら総勢24名が参加し、大盛況となりました。

今年の勉強会は、第一部懇親会および第二部勉強会の二部構成で進行しました。

第一部の懇親会では、参加者全員がそれぞれの研究内容を3分で発表する自己紹介リレーが行われました。参加者の専門分野は非常に多岐にわたっており、幾何学、触媒化学、土壌微生物学といった基礎科学的な分野から、ロボット開発、部品設計、システム構築といった応用科学的な分野まで、幅広い内容

の発表が行われました。自己紹介リレーの後、参加者たちは軽食を囲みながらお互いの近況などについて話し合い、親睦を深めました。

第二部の勉強会では、2人の大学院生が自身の研究内容についてそれぞれ1時間半の研究発表を行いました。発表者たちは、専門分野が大きく異なる参加者にも理解できるよう、噛み砕いた解説を交えながら、最新の研究成果を紹介しました。参加者も、手を挙げて質問を投げかけたり、フランクに意見を言い合うなどして積極的に参与し、勉強会は知的好奇心をくすぐる刺激的な場となりました。

全国に散らばる在日コリアン科学者たちが一堂に集まり知識交流を深めるこのような貴重な場を設けるために、今年も成和記念財団の学術活動支援を拝受する事となりました。貴財団の御厚意により、大変有意義な会を催す事ができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

YKS2016事務局